

団体名： 守山商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考					
				目標①		目標②		得られた効果		ABCDEF評価										
				指標	実績	指標	実績	自己評価	調査結果	自己評価	調査結果	自己評価	調査結果			自己評価	調査結果			
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者を中心に、職員が事業所へ訪問及び相談窓口の設置により、融資等の金融相談や税務・労務相談等経営全般について様々な相談への指導をすることにより経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数1,249社 ・巡回窓口指導延件数2,310件 ・課題解決提案件数60件 ・経営革新承認件数2件 ・経営力向上計画認定件数1件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 85.6 %)	実績 2700	2310	指標 課題解決提案件数 (達成度 100.0 %)	実績 60	60	経営支援を行うにあたり、経営指導員が事業者の状況を随時、課題を把握し、その解決方法の提案を行うことを習慣づけることで、これまで以上に会員の満足度を向上せしめ、伴走型支援につながった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	経営指導員を中心に職員が一体となって計画的な巡回相談指導を展開する。また、課題解決提案については、その質の向上を図り、更なる会費満足度の向上に努める。	○
記帳継続指導事業	個人事業主等を対象に正しい記帳方法や決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	・指導対象者数117人 ・指導延日数700日 ・指導延回数1,399回	小規模事業者	指標 指導対象者数 (達成度 90.0 %)	実績 130	117	指標 (達成度 %)	実績	日々の仕訳から決算書並びに確定申告書の作成において、事業主の事務負担の軽減を図ることができ、自社の財政状態を把握するよう指導できた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	記帳事務の負担軽減のみならず、事業者が自社の経営状況の把握についての確に理解できるように、部属及び税務指導を行う。	○	
講習会等事業	高齢化・多様化する経営環境に対応するため、金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓もうを図り、事業者の資力の向上と経営力の強化に資することを目的とする。	・経営革新、金融相談、確定申告相談、記帳継続指導、労務相談等 講習会開催回数及び受講者数 集団 3回 16人 個別 93回 328人	小規模事業者	指標 参加延人数 (達成度 99.7 %)	実績 345	344	指標 (達成度 %)	実績	事業者の具体的な悩みや問題、課題に対して、その後の情報提供と相談指導のフォローアップにおいて、必要に応じて企業の専門家等を活用することにより、解決、解消につながる事ができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 現行どおり	事業者のニーズにマッチした参加意欲を喚起するよう内容の講習会を企画して行く。小規模企業施策等や税務・労務の制度改正の情報提供にも重点を置く。	○	
地域振興祭事業	各種のお祭り、祭典などを開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、地域の産産PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図る。	・夏まつり 申部小唄 8/2 2500人 志段味 8/25 8000人 ・冬まつり 守西金屋守牧 12/8 3500人 大森 12/2 500人 幸心 12/9 100人 守山 12/9 300人 四軒家イルミネーション ・商工会あいち物産スペース リテナイ航空祭出店 3/2 ・しだみ古墳群ミュージアム オープニングイベント 3/30、31	各発表会等事業者（地域密着型小売店等）	指標 開催回数 (達成度 112.5 %)	実績 8	9	指標 (達成度 %)	実績	地元において祭を開催することにより、地域住民とコミュニケーションを図り、事業の円滑化を図るとともに、地元商店街や事業所のPRが図れた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	協賛金の減少や職員の多忙化により運営内容を見直す必要がある。	○	
地域振興事業	これからの地域経済の振興について地域懇談会を開催し、地域の実態把握を行い、地域経済振興に向けた対応を検討するなど、地域活性化に向けた各種事業に取り組み、地域振興とともに地域商工業の発展に寄与する。	・組織強化委員会 8/28 33人 ・組織強化月間（9月～11月） ・強化月間会員獲得数69社 ・年間会員獲得数140社 ・中学校区支部役員会 ・青年部、女性部、青色部内で役員会を実施	小規模事業者の地域代表	指標 会員獲得数 (達成度 70.0 %)	実績 200	140	指標 (達成度 %)	実績	会員の増強と地域との連携強化が図れた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	理事会において個人別実績報告を行い意識向上を図っているが、個人による温度差があるため、更なる意識向上に努めたい。	○	
商店街・街づくり事業	消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出など、様々な経営課題解決に向け、地域活性化、集客力向上につながる魅力あるイベント事業の実施等、地元事業者の活性化を通して地域振興、街づくりに寄与する。	・なごり商業フェスタ 4/2～4/16 114社 ・名古屋で買おまいプレミアム商品券 11/1～1/31 45社 ・街路灯管理 496基 ・商店街こども110番、びよかカード、あきない塾等街づくり事業 ・各支部・発展会活動のサポート	小規模事業者	指標 参加延企業数 (達成度 106.0 %)	実績 150	159	指標 (達成度 %)	実績	売り出し等により直接的に集客力を向上させた。街路灯事業やこども110番等、地域に密着した街づくりを行い、大型店との差別化を図るとともに、買物等しやすい環境をつくり、間接的にも集客力が向上した。	総合評価 A	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	商品券事業市内全域で行うことが決定しているため、大型店だけでなく中小・小売店への売上に貢献できるよう工夫する。	○	
産業活性化事業	県内各地で国・県等による産業振興プロジェクトが進展する中、地域経済への影響や活用の可能性を探るために先んじて視察を実施し、当該地域への企業の発展及び地域活性化に資することを目的とする。また、特産品事業を推進するにあたり、地域住民に対し土産品・贈答品の需要に応えるため、地区内の名産品、土産品の開発及び発掘を行い、産業振興に寄与することを目的とする。	・視察研修会 9/12 14社 ・商工会展示会を使用した物産PR事業 4社 ・特産品事業実施による守山区の名産品、土産品の開発・発掘 8社15品目	商工会員	指標 参加延企業数 (達成度 51.4 %)	実績 35	18	指標 特産品事業出品品目数 (達成度 150.0 %)	実績 10	15	愛知県国際展示場建設現場および2018年に開業した中部国際空港内の新商業施設等への視察を実施し、管内小規模事業者による経営計画策定における外部環境分析の一助とできた。	総合評価 A	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	愛知県は産業観光を積極的に振興し、ものづくりをはじめとした先進地が多数みられるため、そのような先達の視察を実施することで地域の強みを再発見できるような視察を実施する。	○
情報化推進事業	情報通信技術を活用して、会員事業者等に有益な経営情報を提供し、ビジネスチャンスの拡大や、経営の質を高めるための情報交流を促進し、商工業の活性化に寄与する。	・商工会100万会員ネットワーク（全国連ホームページ）への登録 75社 ・商工会ホームページの活用更新22回	商工会員	指標 ホームページ更新回数 (達成度 183.3 %)	実績 12	22	指標 (達成度 %)	実績	商工会ホームページのリニューアルにより、経営支援しめ商工会活動のPRを図り会員増進に努めた。商工会100万会員ネットワークに登録することにより、全国へ自社業務内容の発信を行い、ビジネスチャンスの創出を行った。	総合評価 A	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 上げる	目標② 現行どおり	HPの問合せから、会員となった小規模事業者が10件あった。今後更に増加するものと思われため、内容を充実させたい。	○	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 守山商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考		
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D 評価							
				指標	実績数値	指標	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足			目標①	目標②
異業種交流事業	会員間ビジネスマッチング促進事業の開催や、他経済団体主催の異業種交流事業への参加支援により、会員企業の取引活性化及び新規販路開拓を促し、地域経済の持続的発展に寄与する。	・メッセナゴヤ2018への出展支援 11/7～10、2社 ・新春賀詞交換会 1/20、84社	商工会員	指標 参加延企業数 (達成度 55.5%)	指標 実績数値 86	指標 (達成度 %)	指標 実績数値	得られた効果 愛知県商工会連合会による、メッセナゴヤへの共同出展により、企業のPRや販路拡大を図ることができた。また、新春賀詞交換会の開催により異業種の交流によるネットワーク構築を図った。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 C	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	○ 新春賀詞交換会における企業マッチング展開をさらに強化したい。
調査・広報事業	中小企業・小規模事業者関連の施策に反映させるために、その経営実態や景気動向等を把握する調査事業を行う。また、中小企業施策の利用促進施策及び地域の情報を周知するための広報活動を行う。	・広報誌「商工もりやま」発行 4月・7月・9月・11月・1月 5回 平均2,554部 ・広報委員会 5回 ・守山ビジネスサポーター事業	商工会員	指標 広報誌配布部数 (達成度 98.2%)	指標 実績数値 2,554	指標 (達成度 %)	指標 実績数値	得られた効果 商工会員に対して的確に中小企業・小規模事業者施策を紹介し、事業者の経営改善やネットワーク作りにつなげられた。また、商工会の事業活動をPRし、商工会の会員増強に資することができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	○ 広報誌の内容の充実を図り、商工会の事業活動の周知と利用促進、また、中小企業・小規模企業施策の普及と利用促進に努める。
青年部・女性部事業	若手後継者をはじめ部員の経営に関する資質向上並びに交流や情報交換の場を創出及び提供することで、地域経済の発展に寄与する。また、部員による社会福祉の増進活動を通じて、地域社会の活性化とふるさと意識の醸成に資する。	・青年部 婚活事業、地域イベント参加、親睦事業、交流会、子ども商店街、支部・県連事業参加 (140人) ・女性部 講義会、地域イベント参加、視察研修会、交流会、情報交換会、支部・県連事業の参加 (84人) ・若手後継者等育成事業の運営	若手経営者及び後継者等(青年部)事業に携わる女性(女性部)	指標 青年部事業参加延人数 (達成度 146.0%)	指標 実績数値 146	指標 女性部事業参加延人数 (達成度 84.0%)	指標 実績数値 84	得られた効果 部員の経営に関する資質の向上とともに、部員相互のネットワークがより緊密に深まった。そのことで、事業の経営方向上に資するとともに、商工会事業の活性化につながった。また、地域社会への貢献活動により地域発展にも寄与できた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	○ 経営に関する資質向上と地域の福祉の増進に対して意欲のある事業内容に充実させていくことで、青年部・女性部事業の魅力を増し、部員増強を図り、事業活動を活性化して行く。
部会・委員会事業	商業・工業などの各部会や委員会活動を行い、部会・委員会参加企業の発展を図る。	・商業部会 5回 54人 ・工業部会 1回 9人 ・金融審査委員会 24回93人 ・金融保険委員会 1回10人	小規模事業者の地区代表	指標 参加延人数 (達成度 92.2%)	指標 実績数値 166	指標 (達成度 %)	指標 実績数値	得られた効果 部会・委員会を通じ、小規模事業者にとって有益となる諸事業・施策の案内ができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	○ 参加者が減少傾向にあるため、地域活性化だけでなく、参加者の店舗等にも有益な情報提供を行う。
福利厚生事業	小規模事業者及び従業員等の健康増進を図るため、各種健康増進事業を実施する。経営上のリスク軽減や雇用の持続的安定を図るため、各種共済制度の普及を推進する。	・ゴルフコンペ 10/22 165人 ・健康診断 10/4,5 372人 ・各種共済の推進	小規模事業者及びその従業員	指標 参加延人数 (達成度 119.3%)	指標 実績数値 537	指標 (達成度 %)	指標 実績数値	得られた効果 商工会への所属意識、會員継続率が向上し、普及事業全般の実施効果を高めることができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	○ 参加者の満足度を高めるため、事業の運営方法等を見直す。また、積極的な周知により参加者の増加を図る。
労働保険事業	事業主に代わって労働保険料の申告納付、労働保険に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図る。	・労働保険加入 197社 ・一人親方労働保険加入 65社 ・未加入事業者への労働保険の加入促進	小規模事業者	指標 労働保険委託事業所数 (達成度 103.7%)	指標 実績数値 197	指標 一人親方労働保険委託事業所数 (達成度 130.0%)	指標 実績数値 65	得られた効果 委託事業者の事務処理にかかる負担軽減と労働保険未加入事業者への啓蒙促進が図れた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	○ 事務処理の正確さに努めるとともに事業所の増加を図る。
税務関係団体指導事業	税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、行政や地域社会への貢献・発展のための一助となり、ひいては、商工業の活性化に資することを目的とする。	・青色部員 135人 ・運営委員会、総会、正副部長会 6回 ・記帳確認指導会 10/15,16 28名 ・年末調整出張相談指導会 (志段味、大森) 1/8 5人 ・日帰り視察旅行 9/17 39人 ・税理士会との連携による相談会	個人事業主等	指標 青色部員数 (達成度 96.4%)	指標 実績数値 135	指標 (達成度 %)	指標 実績数値	得られた効果 個人事業主の確定申告へ向けての経理・記帳面のサポートは、小規模事業者にとってニーズは高く、財政面・資金繰り等の把握もできた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	○ 青色部への加入をメリットの充実を図り、部員の増強・維持に努めたい。
産業団体等指導事業	各種団体等、産業振興・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、行政や地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、商工業の活性化を図る。	・名古屋商工連合等各団体事業活動のサポート 2回	小規模事業者の代表	指標 開催回数 (達成度 100.0%)	指標 実績数値 2	指標 (達成度 %)	指標 実績数値	得られた効果 商工会と行政が一体となって商工業振興策に取り組むための意見交換ができ、中小・小規模事業者の現状を行政に伝えることや商工業振興策について意見具申できた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	○ 行政との意見交換を活性化し、より一体となった事業に取り組む。尚、次年度より事業継続セミナーを実施予定。
経営発達支援計画事業	小規模事業者による事業計画の作成及びその着実な実施を支援し、地域活性化にもつながる展示会の開催等の取組を促進する。	・事業計画作成セミナー 10回 69人	小規模事業者	指標 開催回数 (達成度 100.0%)	指標 実績数値 10	指標 (達成度 %)	指標 実績数値	得られた効果 セミナーを通じ、小規模事業者にとって有益な情報を提供し、小規模事業者の経営発達に寄与できた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	○ よりセミナー等を充実させ、積極的な周知により参加者の増加を図る。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付けています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。